



大門みきし

「軽減税率」の まやかし暴く

大門さんは「軽減税率」導入をめぐる混乱を、ユーモアを交えて暴露しています。「お蕎麦屋さんの店で食べれば外食だから10%。出前してもらって家で食べれば加工品だから8%。こんなおかしい話、ありますか。これから出前ばっかり増えて町中、お蕎麦屋さんの自転車だらけになるかもしれない。これにラーメン屋さんが加わったらどうするんですか。町中、自転車操業になってしまいます。こんなばかばかしいことを考えるなら、消費税増税を中止すればいいではないですか」

参院選勝利近畿ブロックニュースより

「これまでの基本的な人権を守るための一つ一つのたまたまいが国民の学習の場となり、今回安保法制のたまたかの中で『立憲主義』が理解されるようになった。今は国民一人ひとりが自分の判断で動いており、さらに広がっている。再び暗い世の中に戻さないために、力を合わせるときだ」

「特に自民党の改憲草案はしっかりと学習し、その危険な中身を広く知らせていかなければならない」と、盛りだくさんの内容を力強くわかりやすく話してくださいました。（昨年11月28日に開催されました。遅ればせながらの報告です。）

和歌山市・非常勤職員（資格職・技能労務職）採用試験があります

保健師・相談員・就労支援員・試験検査補助・作業員・徴収員・幼稚園保育補助員など、様々な資格職や技能労務職の採用試験が行われます。

受験案内配布

2月1日～人事課（市役所5階）

申込 持参 2月10日、12日

郵送12日必着

試験日 2月20日

詳しくは市報和歌山2月号をご覧ください。

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

和歌山県本部 30周年記念講演会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、ふたたび戦争と暗黒政治の復活を許さないために、設立されました。戦前の悪法で弾圧の被害を受けた犠牲者に国としての責任を認めさせ、謝罪させ、国家賠償をおこなうよう、法律の制定を要求する運動をすすめている団体です。

和歌山県本部設立30周年を記念して講演会が開かれました。講演した神戸女学院大学の石川康宏教授は「悪法による弾圧は過去のことではなく現代の問題になりつつある」と語りました。安保法制の強行採決の問題、安保法制の内容そのもの、また自民党の改憲草案の問題点、日本国憲法の成り立ちと国民の受け止め方など語り、

参加者とともに考えるシンポジウム 子どもたちの声が聞こえますか

2月7日（日）14:00～16:00

勤労者総合センター 6階

報告 田村智子参議院議員

ご挨拶 坂口多美子（日本共産党県常任委員）

・和歌山市の実情 ・意見交換

主催：日本共産党北部地区委員会
子育てシンポジウム実行委員会

